

| 第5回「第2期磯子区地域福祉保健計画」策定委員会議事録 | |
|------------------------------------|---|
| 開催日時 | 平成22年10月8日（金）18時30分から19時50分まで |
| 開催場所 | 磯子区役所7階701会議室 |
| 出席者 | <p>策定委員：別添1のとおり（欠席：名木委員）</p> <p>事務局：別添2のとおり</p> <p>傍聴人：なし</p> <p>地域ケアプラザ：根岸 CP 長谷川コーディネーター、滝頭 CP 林コーディネーター、磯子 CP 関川所長、屏風ヶ浦 CP 堀部コーディネーター、新杉田 CP 岸本コーディネーター、 （欠席：洋光台 CP）</p> <p>区役所関係職員：山下調整担当係長、桑原危機管理担当係長</p> |
| 概要 | <p>I 挨拶 福祉保健課長より</p> <p>II 議題</p> <p>1 第2期計画策定の経過と今後のスケジュールについて</p> <p>運営企画係長：資料1に基づいて説明。本策定委員会は昨年10月28日に始まり、本日は第5回目である。資料の2ページ目に今後の流れの案を示している。区連会を節目にして進めて行きたい。</p> <p>吉田委員長：これまでに策定委員会も5回を重ね委員の意見も反映されている。今後の日程はタイトであるが、策定委員の皆様には引き続きご協力をお願いしたい。</p> <p>2 第2期磯子区地域福祉保健計画「案」の検討と確定</p> <p>運営企画係長：資料2は計画案の取り扱いを説明している。素案に対していただいた意見も参考にして計画案を作成した。地区別計画はこの計画案で初めて区民の方々にお示しすることになる。資料3は素案から計画案への変更点の一覧表なので、ここでは説明を割愛させていただき、さっそく計画案の中身を説明したい。</p> <p>委員長から計画案はボリュームがあるので分けて説明をするようにとのことなので、まず9ページまで説明したい。</p> <p>表紙は素案と同じである。表紙の裏は目次となっているが、3月に発行する確定版では区長と区社協会長のあいさつを掲載する予定だ。</p> <p>1ページ目では、計画を立てる意義を4項目目に加え、ページの下の部分に磯子区の地理的概要を加えた。</p> <p>2ページ目は、素案とほぼ同じだが右下の自助、共助、公助のイラストを強調した。</p> <p>3ページ目は、素案には無かった新しいページだ。地域福祉保健計画は馴染みにくいのので、冊子の前の方に視覚に訴えるインパクトの強い部分を持ってきた。ページの上の部分には、少子高齢化の変化を矢印で示し、真ん中には今年の3月に広報よこはま磯子区版に掲載した記事を再度掲載した。ページの下には、コラムとして最近話題の言葉を掲載した。数年後に計画書を見たときに策定当時の世相を振り返ることができるのではないかと考えている。</p> <p>4ページと5ページは見開きとなるページだ。素案ではもう少し後ろにあったが、重要な内容なので前に移動させた。左ページには理想かもしれないが、誰もが支えあう地域の姿を描いてみた。そして、目指す姿を実現するための取組を共通テーマとし</p> |

て右ページに示した。共通テーマは素案と変わっていないが、表現を少々変更した。支えあいの推進の部分は一部文章を変えて、**民生委員・児童委員と自治会町内会の役員等と一緒に見守り・訪問の活動を推進することが望ましいのではという投げかけを行った。**二つ目のテーマでは、「災害時」という表現を「災害に備えた」と改めた。災害時では、まさに災害が発生した瞬間を思い浮かべるといった意見が多かったためだ。

6ページと7ページは素案には無かった新しいページだ。支えあいとか要援護者とか言っても多くの区民の方々には馴染みのない言葉なので、イメージしやすいように具体的な例を挙げた。これらの具体例は全て磯子区内で実際に行われている活動である。(①～⑧まで順次紹介)

具体的な取組を紹介することにより、「地域における福祉保健活動」を多くの人に知っていただき、活動への理解を進め、そして活動へ参加する方が増えることを期待している。

8ページは素案とほぼ同じだが、文章を一部変更した。

9ページは素案には無かった新しいページで、「地区別計画の推進組織」を中心に据えて計画全体の進め方を図示している。補助金については、区の補助金と区社協の活動資金を地区別計画推進のために使えることを明記した。下の表には地区の推進組織の名称を入れていきたいので、推進組織をできるだけ早く決めていただきたい。

吉田委員長：ここまでのところで、ご意見をうかがいたい。(委員から発言なし)

素案の策定時にだいぶ練り上げたこともあり、今は特に意見が無いようなので次の部分の説明に進んでほしい。

運営企画係長：次に、10ページから27ページの地区別計画部分だが、地区別計画は見開き2ページで1地区分となる。1地区が1ページだった第1期計画に比べると、第2期計画では充実した内容となっていると思う。左ページは基礎的なデータで、右ページは各地区で策定していただいた計画だ。このページには写真も掲載していきたいと考えている。(根岸地区～洋光台地区まで順次紹介)

なお、上笹下地区は今年の8月に地区連合が解散されたので、第2期計画では地区別計画を策定しないこととなっている。

吉田委員長：地区別計画の策定にあたり、地区役員の方々には本当に御苦労されたと思う。改めて地区代表の委員に作成のお礼を申し述べたい。地区によっては、他地区の計画を見て修正を検討する場合もあるかと思う。地区別計画に今後手を加えることはできるのか。

運営企画係長：10月29日まで変更可能だ。変更する場合には、**①初めて地区別計画を見る区民の方々にも分かりやすいよう、簡潔で柔らかい表現にしてほしい。また、②5年間の計画なので、具体的になり過ぎず様々な取組の可能性を含み込めるような表現が良いのでは**と事務局が考えていることをお伝えさせていただきたい。

吉田委員長：意見が無ければ、締切まで各地区と事務局とで調整していくこととする。では、残りの説明をお願いしたい。

運営企画係長：28ページと29ページで地域ケアプラザの紹介をしている。素案には無かった新しいページだ。地域ケアプラザが地域の福祉保健活動の拠点であること、そして、地域ケアプラザはスイッチON磯子の推進を支援していく役割であることを表現している。ここで、地域ケアプラザが施設の外に出て活動する実例として滝頭地域ケアプラザが、岡村住宅自治会の集会所で自治会役員の皆さんと共に健康講座を開催す

る取組を「まめ通信39号」に掲載したので紹介したい。

地区代表の皆様へのお願いだが、スイッチONの会議や取組を行うときには地域ケアプラザの職員にも声をかけていただきたい。

30ページから31ページは素案の11ページに当たる部分で、行政側の取組を具体的に掲載させていただいた。

33ページと34ページの各種データは素案とほぼ同じであるが、計画案では資料的な取り扱いとした

35ページ以降は内容も構成も素案とほぼ同じである。

吉田委員長：冊子全体の説明が終わったが、レイアウト等も含めてどのようなご意見でも構わないので、委員の皆様のご意見を伺いたい。

大平委員：1事業5万円など補助金の考え方は変更ないのか。

福祉保健課長：**まだ予算編成の時期でもあるので明言できないが、前回お示した方向で補助制度を検討していきたい。**

岡委員：補助金の振り込みが遅いため、連合会で一時的に立て替えている。事業を実施するように言いながら、補助金が振り込まれないのは困るので改善してほしい。

福祉保健課長：ご迷惑をかけないように改善していきたい。

吉田委員長：計画案の内容と今後の取扱いについては特に意見が無いようなので、発表までの作業を事務局に一任するという事でよろしいか。

委員一同：異議なし。

吉田委員長：事務局からその他に事務連絡等はないか。

運営企画係長：各地区で話し合いをされる場合、本日の資料を増し刷りするので、必要な部数を事務局までお申し付けください。

Ⅲ 閉会

鈴木副委員長：素案より内容が充実し、計画案は大変良いものができたと思う。各地区の委員と事務局にお礼を言いたい。良いものができたので、より多くの区民の方々に見てほしいが、計画書をこれ以上厚くすると読むのが大変なので、これくらいの分量でお願いしたい。

斉藤担当部長：7月から所在不明高齢者の問題が話題になり、8月のテレビ番組の中で厚生労働大臣から、地域福祉計画を各自治体が策定することにより、この問題に取り組んでいるとのコメントもあった。磯子区では「地域の支えあいの推進」と「災害に備えた要援護者の地域でのサポート体制づくりの推進」を共通テーマにしたが、時宜にかなったものとなった。この計画は息が長い取組となるので、5年後、15年後を見越した計画としてほしい。なお、予算面での対応も早急に行いたい。引き続き委員の皆様のご指導をよろしくお願いしたい。

『第2期磯子区地域福祉保健計画』策定委員会名簿

平成22年10月8日現在

| | 所 属 | 氏名（敬称略） |
|--------------------|-----------------------------|----------|
| 各種団体代表 （氏名五十音順） | 1 磯子区社会福祉協議会当事者団体部会 部会長 | 上杉 惇 |
| | 2 磯子区内障害者施設 代表（1） | 小田嶋 悟 |
| | 3 磯子区民生委員児童委員協議会 副会長 | 小宮山 滋（兼） |
| | 4 磯子区体育指導委員連絡協議会 副会長 | 佐藤 孝明 |
| | 5 磯子区連合町内会長会 会長 | 鈴木 伊三雄 |
| | 6 磯子区医師会 福祉医療事業部会長 | 瀧本 篤 |
| | 7 磯子区保健活動推進員会 副会長 | 田辺 実（兼） |
| | 8 磯子区内ボランティア・市民活動関係団体 代表（2） | 時任 和子 |
| | 9 磯子区青少年指導員協議会 副会長 | 福士 市子 |
| | 10 磯子区社会福祉協議会 副会長 | 吉田 修 |
| 地区代表 | 11 根岸地区 代表 | 須川 さよ子 |
| | 12 滝頭地区 代表 | 古知屋 多恵子 |
| | 13 岡村地区 代表 | 早乙女 幸男 |
| | 14 磯子地区 代表 | 平戸 栄次 |
| | 15 汐見台地区 代表 | 岡 道子 |
| | 16 屏風ヶ浦地区 代表 | 小宮山 滋（兼） |
| | 17 杉田地区 代表 | 櫻井 重人 |
| | 18 上笹下連合地区 代表 | 村岡 宗夫 |
| | 19 洋光台地区 代表 | 大平 清子 |
| | 20 上笹下地区 代表 | 田辺 実（兼） |
| 行政等 | 21 磯子区内地域ケアプラザ 代表（3） | 水越 尚登 |
| | 欠 席 磯子区地域振興課長 | 名木 斉（4） |
| | 23 磯子福祉保健センター長 | 臼井 進（4） |

（ : 委員長、 副委員長）

1 いそご地域活動ホームいぶき施設長

2 磯子区 NPO 連絡会事務局長、NPO 法人夢・コミュニティネットワーク代表

3 滝頭地域ケアプラザ所長

4 平成22年4月1日～

『第2期磯子区地域福祉保健計画』策定委員会 事務局名簿

平成22年10月8日現在

| 所 属 | | 氏 名 |
|-----|-----------------------|--------|
| 1 | 磯子福祉保健センター 担当部長 | 斉藤 林福 |
| 2 | 福祉保健課長 | 戸塚 徳雄 |
| 3 | 運営企画係長 | 中村 仁 |
| 4 | 運営企画係職員 | 伊東 秀明 |
| 5 | 同上 | 近藤 玄樹 |
| 6 | 同上 | 後藤 與四也 |
| 7 | 同上 | 伊東 ゆかり |
| 8 | 健康づくり係長 | 菅野 美穂 |
| 9 | 高齢・障害支援課長 | 嘉代 哲也 |
| 10 | こども家庭支援課長 | 岡ノ谷 雅之 |
| 11 | 磯子区総務部地域振興課 地域力推進担当課長 | 平石 浩二 |
| 12 | 地域力推進担当係長 | 森田 純 |
| 13 | 地域力推進担当職員 | 田中 さゆり |
| 14 | 磯子区総務部総務課 総務課長 | 金子 裕 |
| 15 | 磯子区社会福祉協議会 事務局長 | 内藤 博昭 |
| 16 | 事務局次長 | 西谷 大介 |
| 17 | 職員 | 並木 史江 |
| 18 | 職員 | 大久保 敦子 |